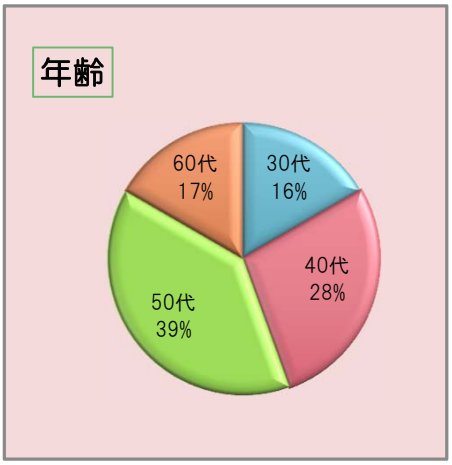
道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

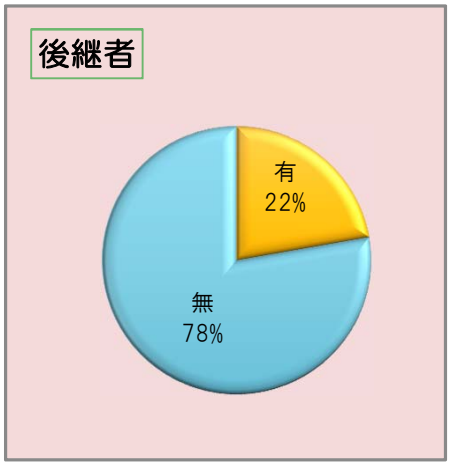
事業名	地区名	市町村	受益面積	受益戸数	採択年度	工期
畑地帯総合整備事業	美幌豊高	美幌町	191.6	26戸	H19	H19～H23

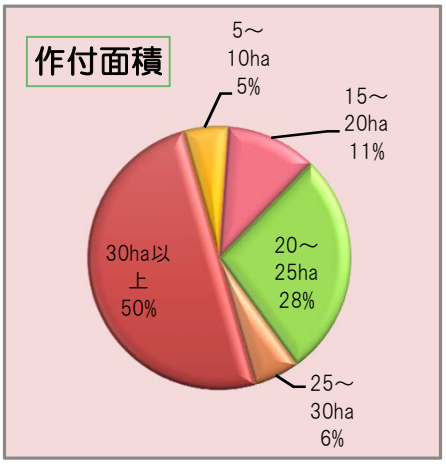
工事内容				
土層改良				暗渠排水
客土	心土破砕	土壌改良	区画整理	116.1ha
39.9ha	42.0ha	18.3ha	27.1ha	

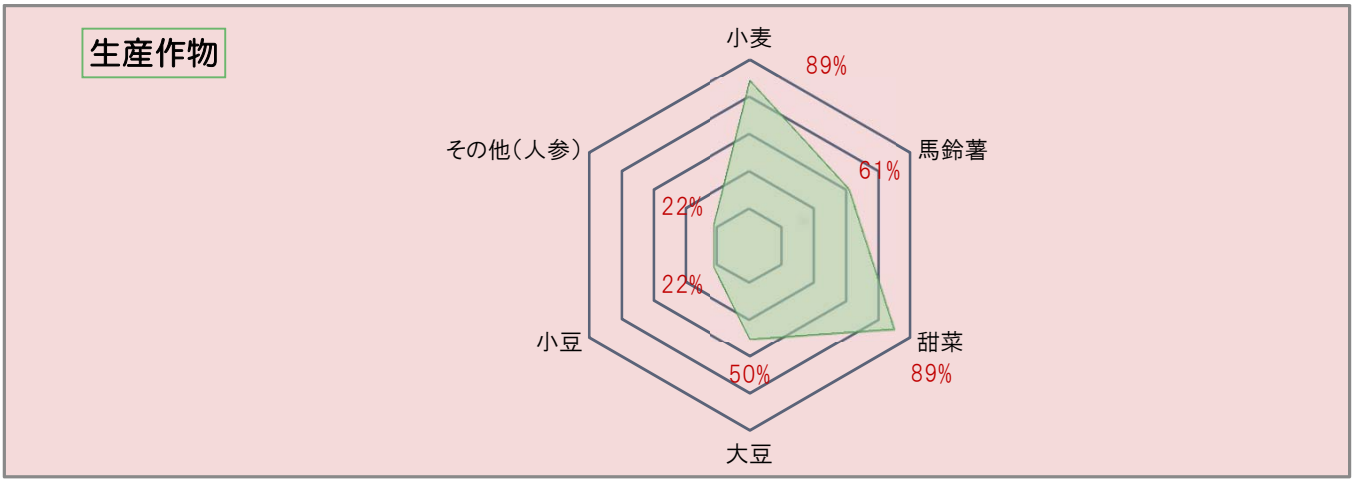
■アンケート回収率：１８／２６　＝６９．２％

Ⅰ　基本事項







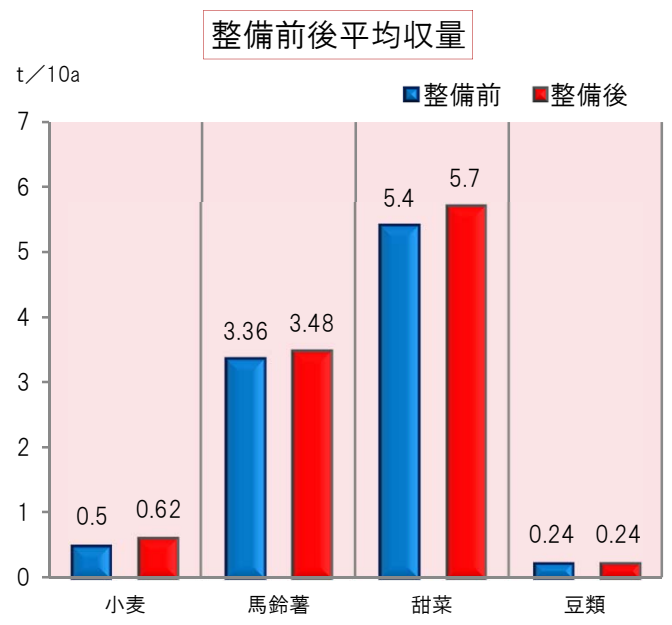


■年齢：50代以上が56%と高齢化傾向。
■後継者：約8割が後継者なし。
■作付面積：30ha以上が約5割。
■生産作物：甜菜、小麦が89%の作付。次いで馬鈴薯、大豆。畑作3品を主体とし、人参などの生産は約2割。

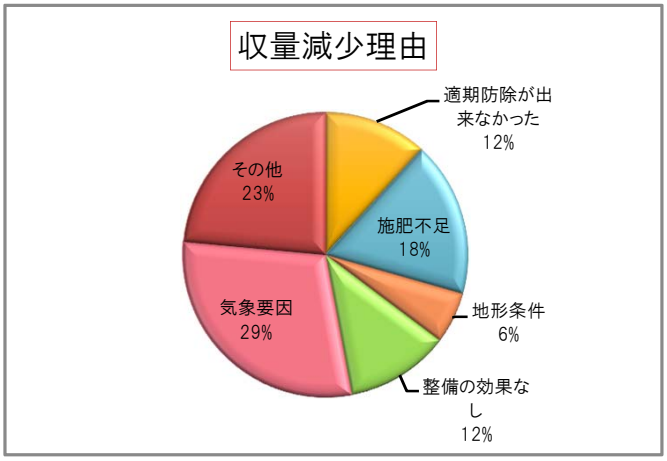
道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前の平年収量と事業整備後の平均収量及び収量が減少した場合の要因



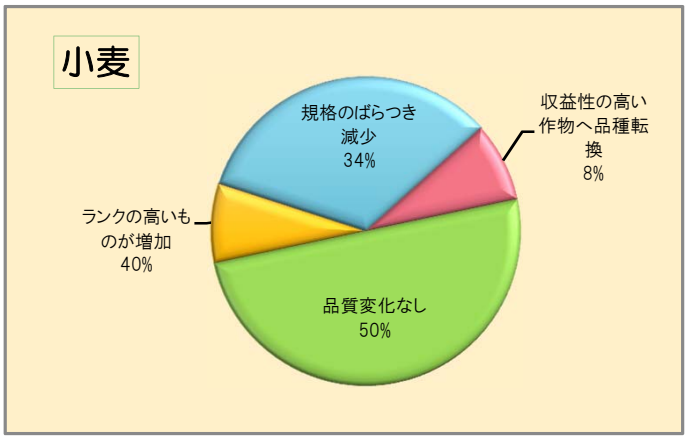
※整備工種は暗渠が約9割。その他区画整理、客土、心破、土壌改良等。

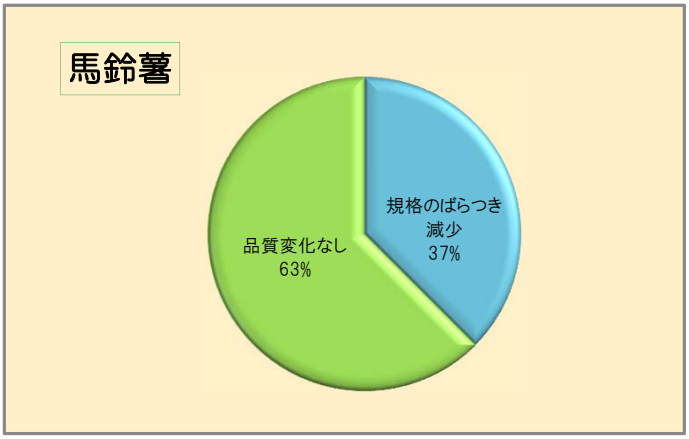


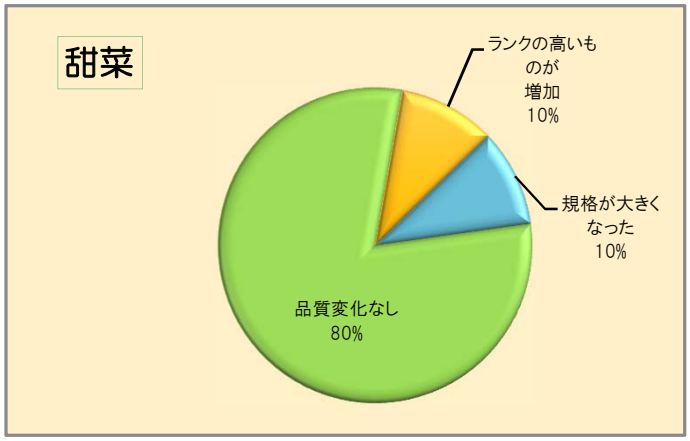
■収量は、小麦、馬鈴薯、甜菜が収量増加。
■豆類は変化なし。

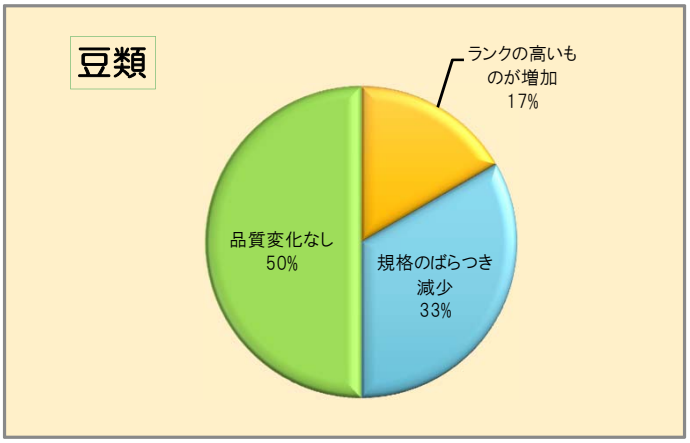
【気象要因減少理由】
・地力が少し落ちた
・重粘土地への客土のため完全になじまず3回以上整地し硬盤が出来た。客土により地力低下。

■２　品質変化：事業整備後の品質変化







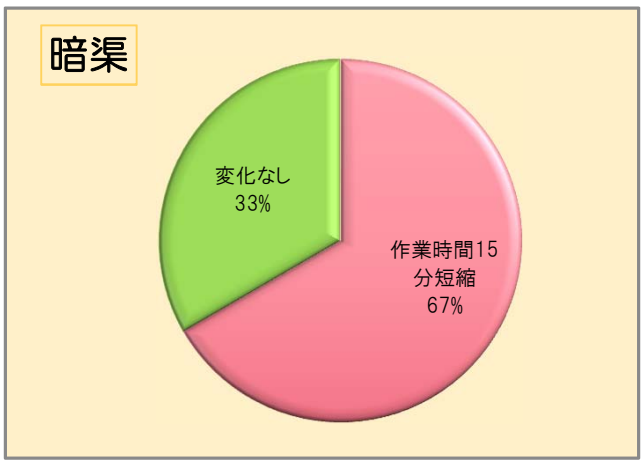


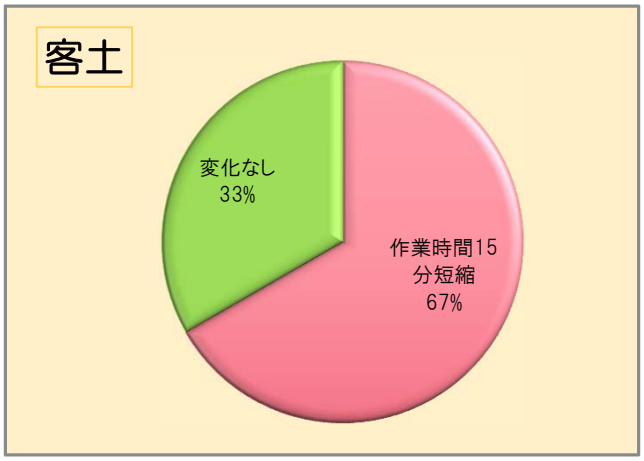
■小麦：約5割が品質の改善効果あり。
■甜菜：約2割が品質の改善効果あり。
■馬鈴薯：約4割が品質改善効果あり。
■豆類：約5割が品質改善効果あり。

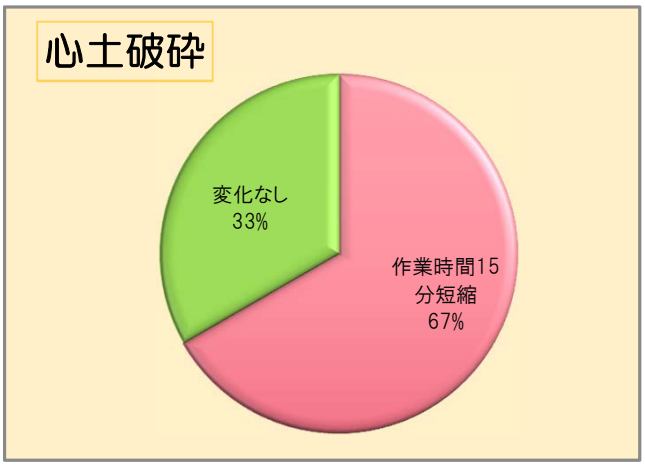
道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

■３　営農効率：事業整備後の営農効率の変化とその要因

①営農効率変化
（※１時間当たりの軽減時間）





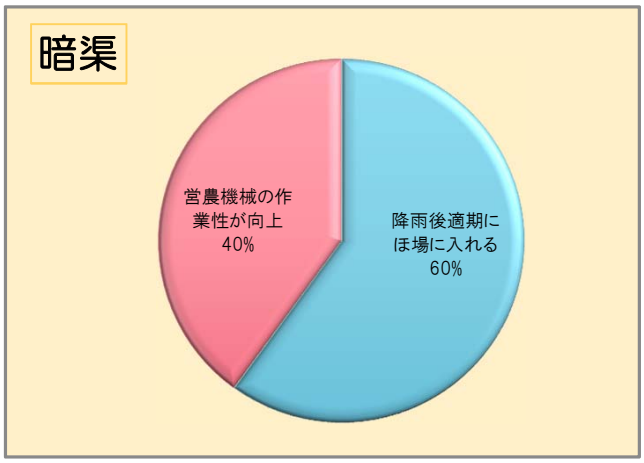


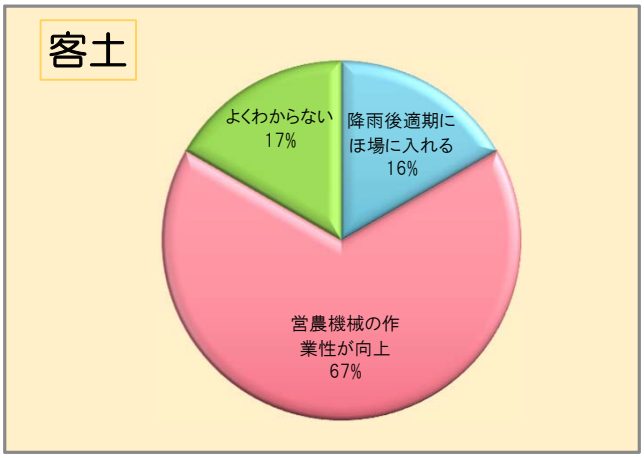
■暗渠：約7割が作業時間軽減.

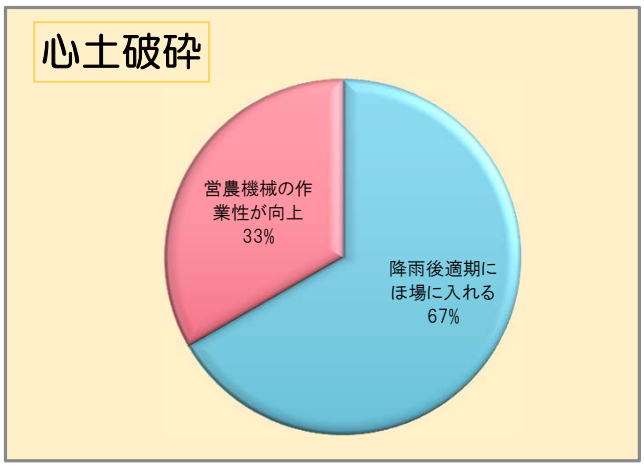
■客土：約7割が作業時間軽減。

■心土破砕：約7割が作業時間軽減。

②営農効率向上の要因







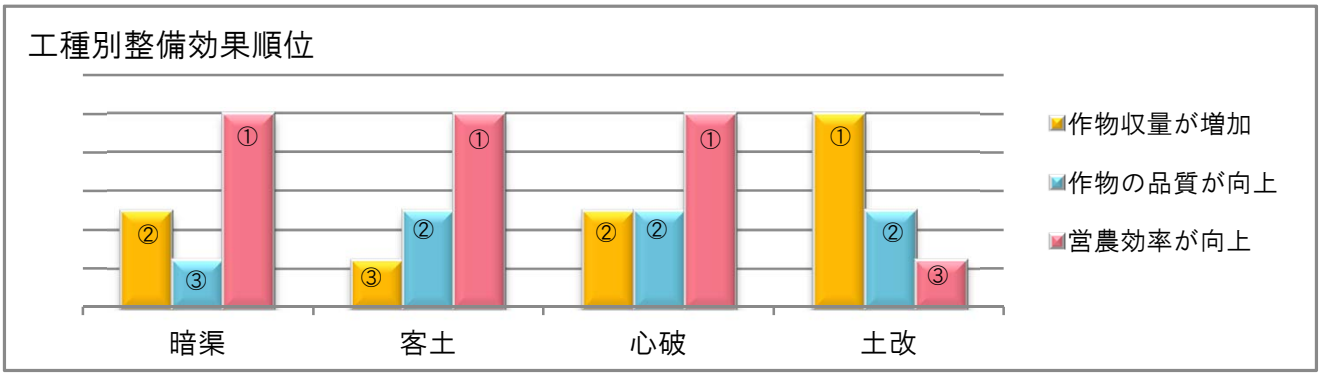
■暗渠：降雨後適期ほ場が約6割。

■客土：営農の作業性が向上が約7割。

■心土破砕：降雨後適期ほ場が約7割。

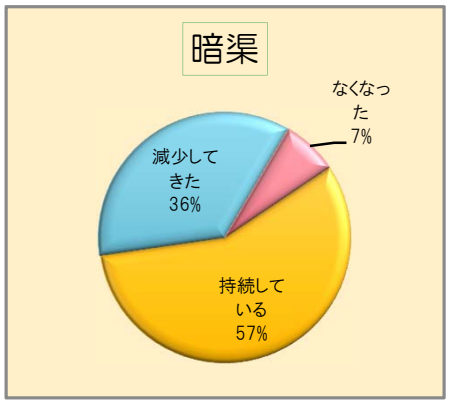
道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

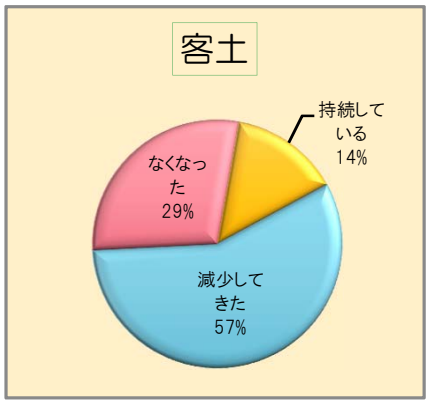
■４　整備効果：効果のもっとも高かった順位。

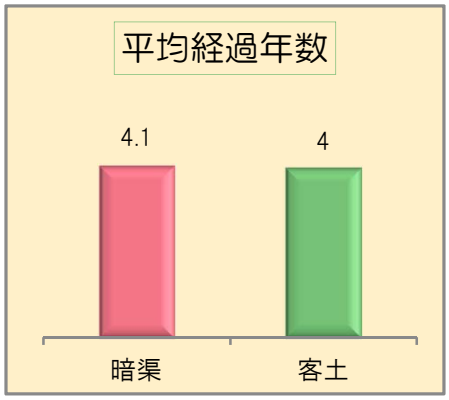


暗渠、客土、心土破砕は営農効率の改善。土壌改良は収量増加が一番効果が高かったと評価。

■５　事業効果持続：整備経過年数と効果の状況。







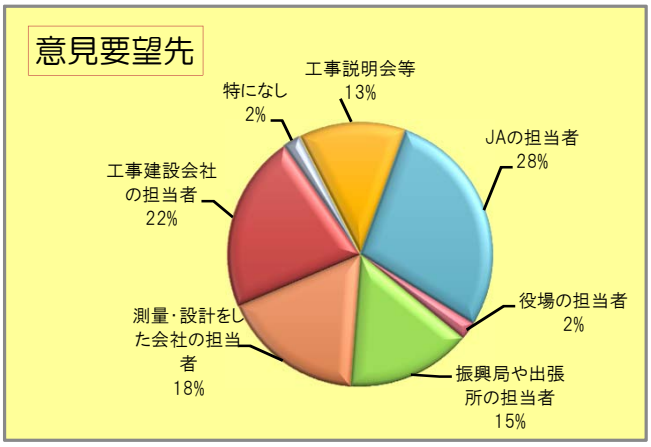
【減少理由】

■暗渠：暗渠パイプの詰りつまり。重粘土地のため水みちが定まっていない。

■客土：重粘土地のため撹拌により火山灰と粘土塊に分離。土壌凍結が少なく風化もないので時間かかる。

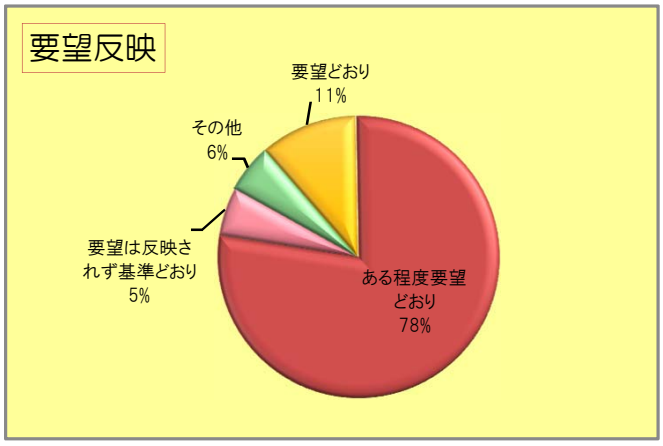
Ⅲ　工事内容

■１　工事に関しての意見要望先



■意見要望先の約3割がJA,出張所担当者は2割との回答。

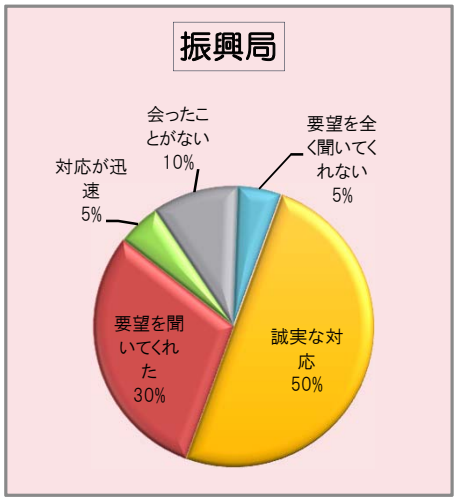
■２　工事への要望反映状況

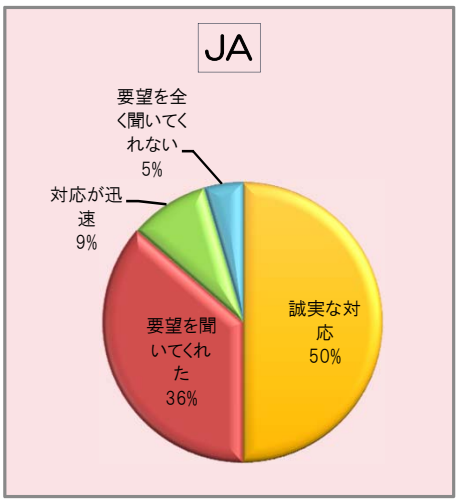


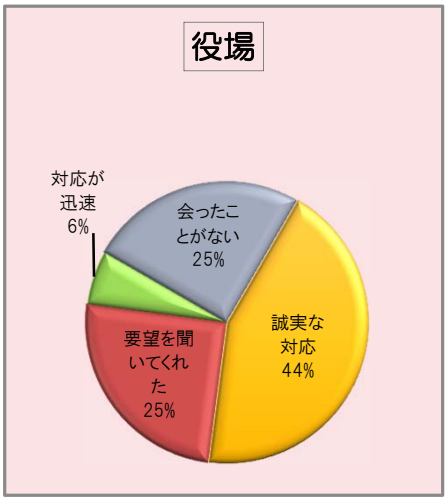
■要望の反映度としては約9割。基準通りは約1割との回答。

道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

■３　所属担当者の対応状況







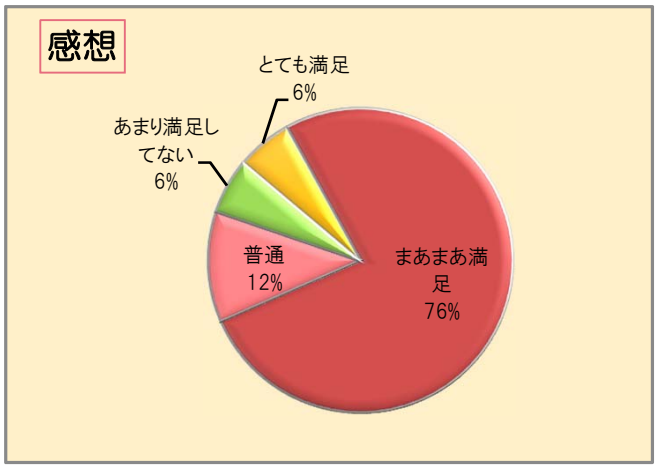
■振興局・JA・役場とも対応について高い評価。一部、5%程度意見が反映されなかったとの回答。

■4　工事監督員対応評価

【良かった点】
・意見、要望を聞いて迅速な対応。
・ぬかった所に入れるようになった。
・現場の状況によく対応してくれた。
・良い畑になるように、いろいろアドバイスなどをしてくれた。

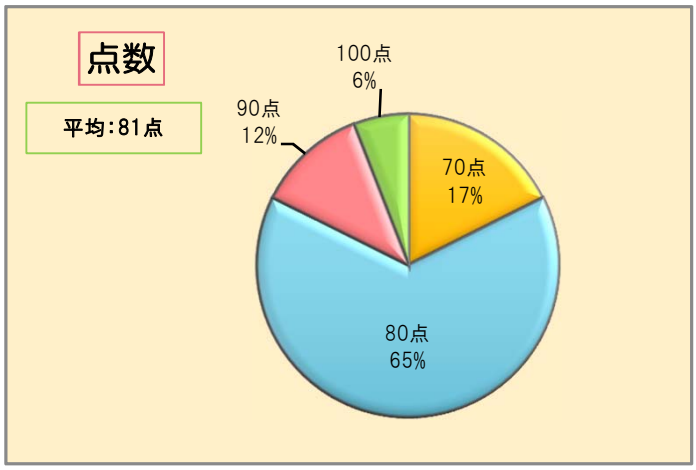
【悪かった点】
・施工基準があるのでなかなかそこを曲げられない。

■５　工事の感想



■約8割が満足との回答。

■６　事業全体評価点数



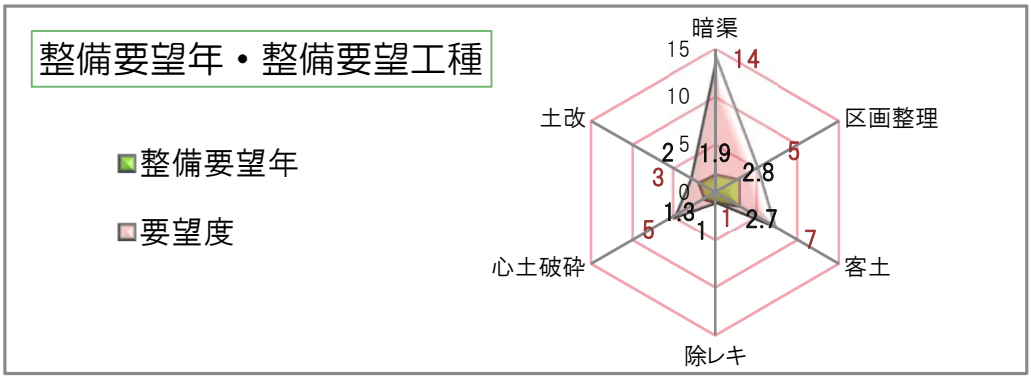
■平均81点評価。約2割が70点以下との評価。
今後の事業実施に向けての課題あり。

道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

■１　今後の事業参加

■２　整備要望・整備要望年



■今後の事業参加：100%参加要望。

■整備要望工種：暗渠が14ポイントと整備要望が高い。次いで客土、心土破砕、区画整理の要望。

■整備要望年：暗渠、心土破砕が1年、区画整理、客土が平均3年後の緊急的な整備要望。

■３　今後、農業を持続していく上での課題

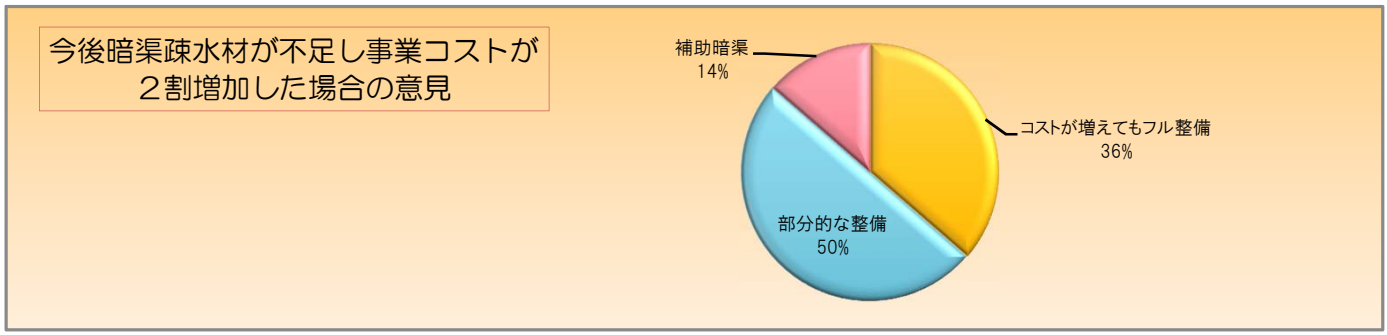
①営農で一番困っている課題

・労働力不足。
・豪雨による土の流出。
・畑の形状が一定ではないので作業効率が上がらない。
・工事費用が上がることで受益者の負担が上がること。
・傾斜地のため大雨による表土の流出。
・異常気象、機械化が高い、TPP等の農政不安。
・土壌改良。
・設備投資、機械更新。
・水が流れて畑の淵がえぐれてきている所がある。
・大雨で農道が流され修復に時間と費用がかかる。
・排水、集水マスの大型化。

②基盤整備による改善

・暗渠排水。
・区画整理等の事業があれば検討してみたい。
・部分的な整備が出来れば（くぼ地暗渠、部分客土）より一層改善される。
・均平。
・長雨などに負けない畑づくり。
・排水施設の改良充実（例：パイプの口径アップ300mm→450mm、1か所→2か所）。

■４　今後の暗渠整備要望



道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

■5　今後の基盤整要望

・暗渠排水のパイプの赤ヘドロがつまらない施工をしてほしい。

・暗渠排水・コストが増えてもフル整備で進めてほしい。

・心土破砕・毎年継続的に進めてほしい。

・2～3年後の部分暗渠等追加補修工事を認めてほしい。

・事業負担が増えてもパイプの径を大きくしてほしい。

・測量や設計などの簡素化、コスト低減。受益者負担を減らす。

・客土　5年に1回くらいにしてほしい。

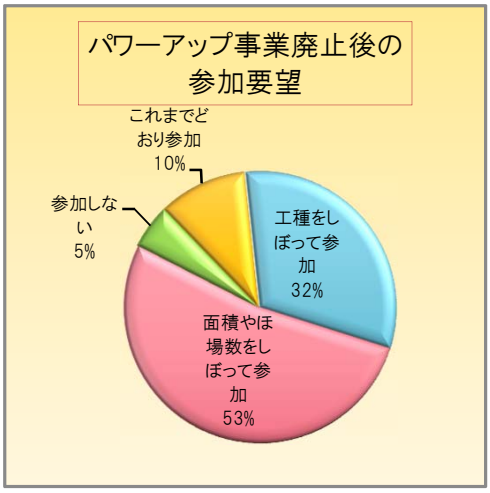
・農道に水切板などを設置し農道を掘られないようにしてほしい（附帯工）。

・畑の土質によってはレキを厚めに入れるのとピッチを細かく入れてほしい（暗渠排水）。

・集中豪雨に対応するため既存施設の機能充実として排水パイプのサイズアップ、増設、土盛り等。

・設計の段階で地元の話をよく聞いてほしい。

■6　パワーアップ事業参加



【パワーアップ事業に関する要望】

・設計、計画段階で現地ほ場での確認（図面確認ではわかりずらい）
・受益者負担軽減をより一層望む。
・継続希望。
・パワーアップ事業はぜひ継続してほしい。
・とてもいい事業なので今後も続けてほしい。

■7　全体をとおしての意見要望

・近年の異常気象により排水対策に悩まされています。

・雨量が多く集水口を乗り越えることが多くなっています。

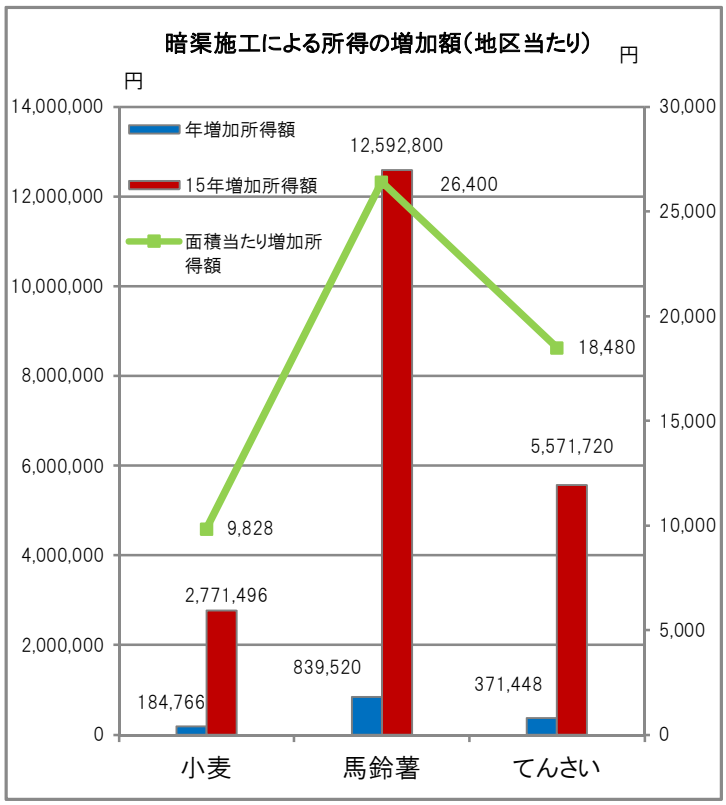
・排水パイプのサイズアップを行いたいが箇所が多く莫大な費用負担となるため、事業の対象にしていただきたい。

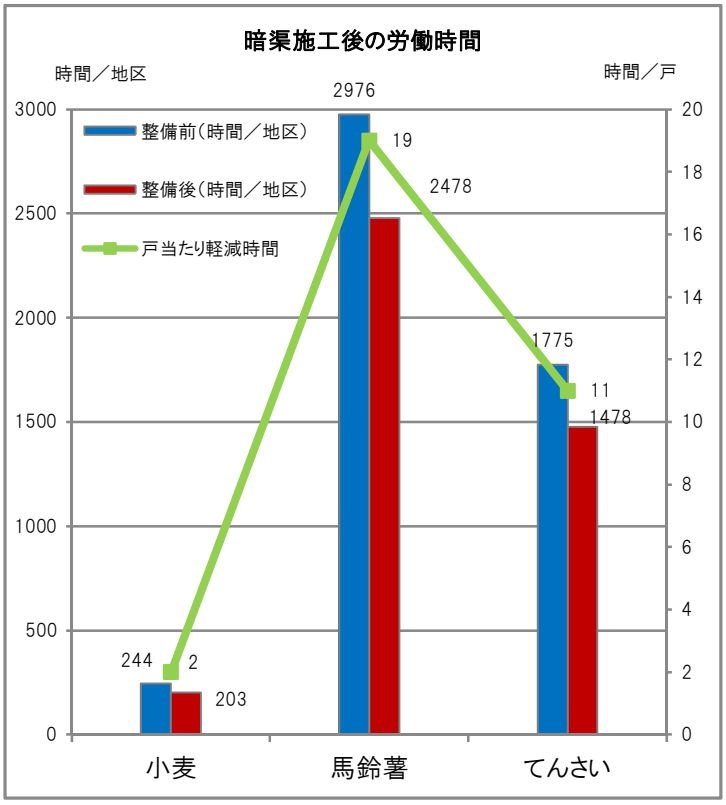
・暗渠排水、客土が効果発現まで時間かかる（水みち、風化）

・暗渠については結果がすべて。

道営畑総事業　美幌豊高地区　事業完了アンケート調査（H25年　3月調査）

＜参考＞





作物	暗渠受益面積		平均増収量	販売価格	所得率	面積当たり増加所得額	年増加所得額		総労働時間	
	作付率 (%)	作付面積(a) ① (ha)	② (kg/10a)	③ (円/kg)	④	⑤=②×③×④ (円/ha)	地区当たり ⑥=①×⑤ (円/地区)	戸当たり ⑦=⑥/26戸 (円/戸)	整備前 (時間/地区)	整備後 (時間/地区)
小麦	16.2%	18.8ha	120	21	0.39	9,828	184,766	7,106	244	203
馬鈴薯	27.4%	31.8ha	100	60	0.44	26,400	839,520	32,289	2976	2,478
甜菜	17.3%	20.1ha	300	11	0.56	18,480	371,448	14,286	1775	1,478
計						54,708	1,395,734	53,682	4,995	4,159

■暗渠受益面積：作物別の作付面積は地区の平均作付率により算出。
■面積当たり増加所得額：作物別の平均増収量、販売価格、所得率により算出。
■年増加所得額：暗渠排水の施工により増加する地区全体の所得額。暗渠受益面積と面積当たり増加所得額により算出。
■15年増加所得額：暗渠機能効果が15年持続した場合の増加所得額で、年増加所得額を15倍して算出。
　※販売価格：小麦は秋まき小麦、馬鈴薯は食用馬鈴薯、豆類は大豆の販売価格を適用。
■総労働時間
　・整備前：畑・野菜複合経営30haモデルの総労働時間「2,189時間」を基に作物別のha当たり労働時間を算出し、これと暗渠受益面積により整備前の総労働時間を算出。
　・整備後：「営農の効率変化」アンケート結果により、整備前の労働時間を約7割27%軽減させて算出。
　・戸当たり軽減時間：整備前と整備後の労働時間の差を地区の受益戸数「26戸」で除して算出。

（販売価格等はJA地域農業振興計画から引用）